２学年通信

ほっと

令和６年度鮫川中学校
第２学年　第５１号
発行日：３月１９日（水）
発行責任者　：角田　敏文
文　　責：須藤　貴大

「合意形成」～求められる力～

　１４日（金）、学級活動の時間に「合意形成」を図るグループ活動を行いました。

　「**合意形成**」とは、**話し合いの場で意見が食い違ったときに、互いの意見を尊重しながら意見をまとめていくこと**を意味します。

　以下のような状況で、ヘリコプターから持ち出すのに重要な品物はどれか。個人で考えた順位をもとに、グループ総意の順位を考えました。理由も伝えながらお互いの意見を発表している姿に感心しました。

　学級の話し合い等でありがちな多数決による決定。本来は様々な意見を聞いた上で解決に向かうことが大切だと改めて気付かされた時間でした。

　２月中旬の午前１１時半ごろ、あなたが乗っているヘリコプターのエンジンが急に故障しました。操縦士が無線で交信し、北東３０キロの地点にある小さな町と連絡をとることができました。
　その直後、雪におおわれた森の中に不時着しました。プロペラは折れ、操縦士は死んでいました。しかし、あなたたちは奇跡的に軽い傷ですみました。不時着した場所は、昼の気温は－５℃、夜になると－１５℃まで下がります。
　ヘリコプターには、次の１０種類の品物が積んであります。

①ライフル銃：１丁　②マッチの大箱：１箱　③新聞：５日分　④方位用の磁石：１個
⑤スキーセット：１組　⑥２０ｃｍのナイフ：１個　⑦板チョコレート：１０個
⑧大型懐中電灯：１個　⑨ウィスキー：１ビン　⑩固形油の金属缶：１個

　とりあえず、爆発する危険のあるヘリコプターから、①～⑩の品物を急いで１００ｍ先の大きな木の下まで持ち出さなければなりません。
　持ち出すのに重要と思う品物から、１～１０番まで順位をつけてください。

冬山に詳しい専門家による見解はこちらから！２班(彦希さん・りこさん・詩織さん・應春さん）が一番専門家と近い見解を示していました。

道徳～震災を乗り越えて～

　東日本大震災から１４年が経ちました。あの地震の時、みんなは何をしていたのかを保護者から聞いたことがあるかと質問した際、数名の手が挙がりました。「寝ていた」「（保護者の仕事の都合で）こどもセンターに預けられていた」など様々でした。

　２年生は２週に渡って道徳の時間で、震災当時の新聞を読んだり、人々は震災をどのように乗り越えたのかを動画で見たりして、当時の状況を理解しようと努めました。

　何を思い、何を感じたのか、ご家庭でも話題にしてみてほしいと思います。

１・２年生で鮫中を盛り上げました！

　１７日（月）、１・２年生のみで学年集会（レクリエーション）を行いました。３年生が卒業して少し寂しいですが、みんなで「長縄八の字跳び」や「だるまさんが転ばない」を楽しみました。